

# イッシキガガンボモドキの採集記録

登日邦明<sup>1)</sup>

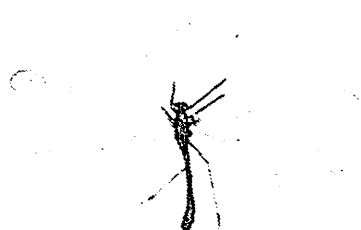
シリアゲムシ目の昆虫は原始的な形態を残した昆虫の仲間で、日本からは2科4属40種余りが知られている。

このうち、これまで淡路島からはシリアゲムシ科のヤマトシリアゲのみが知られていたが、ガガンボモドキ科のイッシキガガンボモドキが分布することが判明したので記録しておきたい。

Mt. Ryuhoujisan.	1♀.	24. VI. 1992	S. Ohkusa leg.
Tsuna Omachi Hata.	1♀.	21. VII. 1993	K. Tobi leg.

五色町の龍宝寺山系で大草氏が採集した個体は昼間薄暗い林の中を飛翔していたもので、津名町大町畑で筆者が採集した個体は夜間に燈火に飛来したものである。

尚、先に大草氏が採集した標本は筑紫女学園短期大学の宮本正一氏に同定していただいた。標本は自然環境研究所 (NSI) に保管されている。



五色町産イッシキガガンボモドキ

(とび くにあき)

## 津名町大町でコムラサキの前翅を拾う

登日邦明

近年、洲本市宇原 (菊池, 1991, 本誌 37) や洲本市安乎 (堀田, 1992, 本誌 38) などからコムラサキの採集や目撃の記録が相次いでいるが、筆者は本年 (1993) 6月21日に津名町大町畑の自宅の裏山で、本種の雄の左前翅を拾ったので記録しておきたい。

記憶を辿ってみると、20年余り以前にやはり自宅近くの墓地の樹冠できらりと光る本種の雄の構造色らしき輝きを目撃したことがあるのだが、一瞬の出来事で当時は確認には至らなかった。

(とび くにあき)